**第５学年３組　国語科学習指導案**

1　単元名・教材名　　事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう

　　　　　　　　　　　「想像力のスイッチを入れよう」

2　本時の学習指導（本時3/6時）

（１）目標

　　　○筆者が「想像力のスイッチ」という表現の仕方をしたのはなぜかを考えることができる。（読むこと）

（２）評価規準（１時間の授業に即した具体的なもの）

|  |
| --- |
| エ　読む能力 |
| 筆者が「想像力のスイッチ」という表現の仕方をしたのはなぜかを考えることができる。 |

（３）展開（○は指導上の留意点、　　　　内は評価を表す。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １前時の振り返りをする。  2本時の課題を示す。  3本文(P180～182)を読み、「想像力のスイッチ」という表現への理解を深める。  4「想像力のスイッチ」とは何か、文中の言葉を使って各自でまとめる。  5各自まとめたものを発表する。  4 筆者が、「想像力のスイッチ」と表現した理由を各自で考えてまとめる。  5発表する  6メディア側が努力すべきこととはどのようなことか考える。  7発表する。  7本時のまとめを行う。 | ・前時の振り返り  ・本時の課題  「想像力のスイッチ」という表現のしかたをした理由を考えよう  ・文章の読み取り  ・表現の工夫  ・文章の読み取り  ・発表  ・文章の読み取り  ・自分の考えの持ち方  ・発表  ・文章の読み取り  筆者が「想像力のスイッチ」という表現の仕方をしたのはなぜかを考えることができる。（机間指導、発表）  ・発表  ・本時のまとめ | 〇単元の学習課題を確認し、見通しを持って本時の学習に取り組むことができるようにする。  ○「想像力のスイッチ」という表現について、3つの文章構成のうちどこを見ればよいか問う。  ○丸読みをすることで、児童が文章を目で追い、集中して本文を読むことができるようにする。  〇音読のポイントを確認する。  　正しい姿勢で、正しく、はっきり、スラスラと。  ○「想像力のスイッチ」とは何か問う。  〇困っている児童に対して、「想像力のスイッチ」について書く上で必要な部分に線を引くよう促す。  ○適切に書くことができている児童には、称賛し、文章表現の工夫を考えたり、誤りがないか見直したりするように声をかける。  ○前回の文章構成の板書を参考にするよう声掛けをする。  ○挙げられた児童の意見を、ポイントを絞って板書する。  ○教員がまとめた文章の例を示す。  ○「想像力のスイッチ」と表現した理由を考えてノートに書く。  ○児童一人ひとりの考えを尊重するよう心がける。  ○メディア側に求められる努力とはどのようなことか各自で考える。  ○先ほどまでは情報を受け取る立場で考えていたが、反対の立場についても検討する。  ○これまで検討してきた情報を受け取る側の考えと照らし合わせる。  ○本時の振り返りを行い、次時の予告をする。 | 1分  2分  10分  5分  7分  5分  5分  3分  5分  2分 |

3　備考　　在籍児童数　35名

4　板書計画

「想像力のスイッチ」という表現のしかたをした理由を考えよう

。

**想像力のスイッチを入れよう**

**<「想像力のスイッチ」とは>**

　　・

　　・

　　・

　　　→

**<「想像力のスイッチ」という表現をした理由>**

　　・

　　・

　　・

　　・

　　・

　　・

**<メディア側がするべき努力 >**

・

　　・